

令和2年度 シラバス

第3学年
普通科
スポーツ科学コース

鳥取城北高等学校

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修	
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに文体の表現上の特色をとらえる。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとつたりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	新高等学校現代文B(明治書院)新高等学校現代文B 学習課題ノート(明治書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年 間 授 業 計 画						
学期	月	單 元	單元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評 価
1	4	はじめての失敗	随想を読み、新たなものの見方を知る。	自分にとって失敗とはどういうものであつたか、具体的にまとめる。	9	授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	5	おまえはどこに立っている	随想を読み、ものの捉え方や文章の組み立て方を学ぶ。	主題について表現に注意して読み味わう。	9	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
		マスク	登場人物の心理を受験という状況に即してとらえる。	表現の特徴や主題について話し合う。		授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
	6	オデュッセイア	小説の特徴を掴み、その特徴を生かした物語の構造について理解を深める。	構成や表現の特徴をつかんで主題を探る。	12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出
		言葉を理解する	論理的な文章の読み方を習得する。	抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解する。		授業態度・発問評価・指名音読ノート・学習課題ノートの提出
	7	小説とは何か	評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。	小説の面白さとは何か、話し合う。	12	授業態度・発問評価ノート・学習課題ノートの提出

		わたしが一番きれいだったとき	語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。	韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
2	8	九月の風	詩にこめられた情景や心情を読み取る。		3	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	9	流星		文体や修辞技法などの表現の工夫から特色と効果を考える。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		博士の愛した数式	近代・現代小説の名作に触れ、自分にひきつけながら読む態度を養う。	個々の場面のエピソードの意味を全体の流れから考える。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	10	怖れ	空想によって作られた小説のおもしろみをつかむ。	構成や表現における作者の工夫を的確に読み取る。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		あるいは「風」について	長い評論の文章について、論の組み立て方や要旨をとらえる。	日本の伝統芸能の本質について、文意に沿ってまとめる。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
11		物の見えたる光	要旨や構成を把握し、引用文の効果的な使い方を学ぶ。	ジャヴェルの言葉と引用されている芭蕉の俳句との共通点を話し合う。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「世間」とは何か	ものごとを根本から考える姿勢を学ぶ。	社会関係の実相を日欧の対比から考える。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
12		舞踏会	小説の時代背景、場面設定、登場人物の人物像や心情をつかむ。	鹿鳴館とは、明治時代の日本でどのような意味を持つかなど、時代背景を調べる。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		サフラン	明治期の隨想を読み、現代にも通じるものを見方を知る。	「物語のモラル」とは何か、話し合う。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
3	1	私の個人主義	作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める。	構成や表現における作者の工夫を的確に読み取る。	6	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修	
科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の考えを明確にして論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合ったりすること。 ・相手や目的に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話をしたり文章を書いたりすること。 ・記録、収集、整理した内容を、正確に伝える文章にまとめること。 ・さまざまな表現について理解を深め、自分の表現に役立てること。 ・表現を「人間の根源的な生きる行為」と位置づけ、総合的な表現能力を磨くこと。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合うとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。	
教科書、教材など	大修館書店『国語表現 改訂版』 『改訂版漢字とことば常用漢字ワイドアルファ漢字検定7級～2級』(桐原書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1 書いて伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きの理解や、文脈による文のつながりを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識し分かり易い文章を書く。 	整った文を書く わかりやすい文を書く 文のつなぎ方 絵や写真を見て書く 実践トレーニング	6	書く能力、知識・理解で評価 書く能力、知識・理解で評価 書く能力、知識・理解で評価 書く能力、知識・理解で評価 意欲・知識・理解で評価 読む能力、書く能力で評価
		2 小論文・レポート入門	・小論文の基本的な書き方を理解し、意見を筋道を立てて書く。また、原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	表現の扉 1 小論文とは何か		書く能力、知識・理解で評価

5		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ・資料から読み取った事をふまえ、意見を明確にして小論文を書く。 ・発想を広げるための方法を理解し、活用して小論文を書く。 	<p>反論を想定して書く 文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 発想を広げて書く レポートを書く 論文を書くために 自分を見つめて 効果的な自己PR</p>	6	<p>書く能力、知識・理解で評価 書く能力、読む能力・知識・理解で評価 書く能力、知識・理解で評価 関心・意欲・書く能力で評価 関心・意欲・書く能力で評価 関心・意欲・書く能力で評価 関心・意欲・態度で評価 関心・意欲・態度で評価</p>
6		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な書き方を理解し、客観的な根拠を集め、レポートをまとめる。 ・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用方法、参考文献や注の示し方を理解する。 ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作り、自己PRをする ・調べたことをふまえ、「将来の自分」について文章にまとめる。 情報を集め、調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。 ・適切な言葉遣いや態度、具体的で説得力のある面接の受答えをする。 ・表記や係り受けなど、文を書く上での基礎が押さえられているか確認する。 		8	<p>関心・意欲・書く能力で評価 関心・意欲・書く能力で評価 将来の自分を考えて 志望動機をまとめよう 面接にチャレンジ 実践トレーニング 2</p>
7				8	<p>話す・聞く・書く能力で評価 話す・聞く・書く能力で評価 話す・書く能力で評価 話す・聞く・書く能力で評価</p>
8	4 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 	通信文を書き分ける 電話を使いこなす	2	<p>書く能力・知識・理解で評価 話す・聞く能力・知識・理解で評</p>
2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・メディアの情報の伝え方を理解する。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。 ・文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、朗読する。 ・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。 	ネット社会とコミュニケーション メディアと情報 言葉のストレッチ体操 リーダーズシアターを開こう ショートスピーチをしよう	8	<p>書く能力・知識・理解で評価 知識・理解で評価 話す・聞く能力で評価 関心・意欲・態度・話す・聞く能力で評価 話す・聞く能力で評価</p>
	5 声のコミュニケーション				

	10	6 会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。 ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 	相手や場面に応じた会話 建設的な議論の進め方	8	話す能力・知識・理解で評価 関心・意欲・態度・話す能力で評価
	11	第2部	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナル作品を作る。 ・詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・イベントなどの効果的なコピーを考える。 	言葉で遊ぶ 詩歌を楽しむ 魅力的なポスターを作ろう	8	書く能力・知識・理解で評価 書く・読む能力で評価 関心・意欲・書く・読む能力で評価
	12		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に編集し、効果的なパンフレットを作る。 ・質問内容を吟味してインタビューをし、相手の話の大切な点を落とさずに聞き取る。 ・自分たちが普段使っている言葉を見つめ直し、言語感覚を豊かにする。 ・効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。 	「わが町自慢」のパンフレット作り 働く人にインタビュー みんなで作ろう国語辞典	8	関心・意欲・書く・読む能力で評価 関心・意欲・書く・読む能力で評価 話す・聞く・書く能力で評価 関心・意欲・書く能力で評価
3	1			エッセイを書こう	4	書く・読む能力で評価

教科名	地理歴史	科目名	日本史A	単位数	3 単位
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修
科目の目標	①近現代の歴史的事象と現在との結びつきを調べ考える活動を通して現代の社会やその諸問題が歴史的に形成されたものであるという歴史を学ぶ意義に気付く ②近現代の日本史の展開を、年表や地図、その他の資料に基づいて学習し、近代社会が成立し発展する過程を理解する ③近代社会が成立し発展する過程を地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察することを通して、歴史的思考力を身に付ける ④主体的な歴史学習を通して、現代の日本と世界の抱える諸課題について考察し、国際社会において平和で民主的な国家・社会を形成するために、私たちが果たすべき役割について考える				
学習内容の概要	第1章から第5章では、19世紀の世界の動向を経て開国し、近代社会を成立させ、それを発展させていった日本の動きを学習する。第1章では国際環境の変化の中で進展した日本の近代化について、第2章では変動する東アジア世界における日本の動きについて、第3章では二つの世界大戦をめぐる国際情勢の中における日本について、第4章では第二次世界大戦後に形成された国際社会における日本の復興について、第5章では現代の世界と日本の動きについて学習する。各章末にはその時代の暮らしや文化を概観できるページを設けている。学習した内容を振り返り、政治や経済の変化が人々の暮らしや文化にもたらした影響について考える。各章末の「学習のまとめ」には課題を設定しているので、課題に取り組むことを通してそれぞれの時代への理解を深めていく。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	近現代の歴史的事象と現在との結びつきを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意義に気付き、関心を持って学習に取り組めているか。 現代の社会が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく当事者として自覚を持って考える態度を身に付けているか。	近現代日本史の展開から課題を発見し、世界史や国際環境と関連づけ、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 歴史的に形成された諸課題を様々な理解、立場があることを踏まえ、公正に判断しているか。 課題についての考察や判断の過程や結果を、効果的な方法を選択して適切に表現しているか。	近現代の日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。 得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身に付けているか。	近現代の基本的な歴史的事象に関する知識を身に付け、近代社会が成立し発展する過程を理解しているか。 近現代の日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連づけて理解しているか。	

教科書、教材など 東京書籍「日本史A」(日A308)

授業形態 講義形式

年間授業計画

学期	月	單元	単元の目標	学習内容	時間	評価
1	4	第1章 近代日本の形成 1. 国際情勢の変化と明治維新	資本主義体制の発達した列強諸国が、市場と原料を求めてアジアへ進出すると、アジアではそれに抵抗する動きが起つたことを学ぶ。 ペリーの来航により、幕府の鎖国政策が破綻し、日米修好通商条約を調印するまでの経緯を学ぶ。	内憂外患に苦しむ日本では、老中水野忠邦による天保の改革が失敗し、幕府の権威が失墜する中、財政改革や富国強兵に成功した雄藩が成長したことを学習する。 開国と貿易による幕末の経済や社会の混乱について学習する。	9	地図を利用して、列強各国の植民地の位置関係を確認・理解しているか。 グラフから1860年前後の貿易の概要を読み取れたか。
	5		薩長同盟の成立から戊辰戦争までの経緯を学び、新政府が徳川氏とそれを支持する勢力を排除したことを学ぶ。	横浜と上海が、諸外国との窓口として発展した経緯を学び、東アジアの近代化の特徴について学習する。	9	各派の動きや列強の動向を年表に整理し、それぞれの関連について考察できたか。
	6	2. 明治新政府の諸改革	地租改正により近代的な土地所有権が確立されたこと、政府が財源を確保・通貨を統一、官営工場を設立するなど、殖産興業に努めたことを学ぶ。	開国後の政治の主導権をめぐる幕閣、雄藩、尊王攘夷派による争いの経緯を学習する。 欧米の啓蒙主義が取り入れられる中で実学主義にもとづく学制が公布された後、次第に教育が国家主義化された経緯を学習する。	12	大政奉還後に戊辰戦争が起きたのはなぜか考察できたか。 近代化の一方で、小作農が土地所有者に従属し、重い現物小作料を納める関係が残されたことを理解しているか。

		岩倉使節団を派遣し欧米に学ぼうとした政府が、東アジア諸国に対して軍事力を用いながら交渉を進めた経緯を学ぶ。	政府が明治初期から、琉球に対して強圧的な態度をとり西の国境を画定していく一方、ロシアとは交渉により国境を画定していくことを学習する。		地図を活用し、当時の国境画定と現在の国土との関係について理解しているか。
7	3. 立憲国家の成立	明治六年の政変後、不平士族を中心に始まった自由民権運動が豪農層に広がり、私擬憲法が盛んに作られるなど活発化すると、政府内部にも国会の開設をめぐる対立が生じ、国会開設の勅諭が出される事態となつた経緯を学ぶ。	松方財政で銀本位制が確立し、都市に流入する労働者が増え、資本主義発達の基礎が整つことにより、紡績や鉄道、海運等の近代産業が急速に発達したことを学習する。	12	地図を利用し、激化事件が頻発した地域の特性を理解できたか。
2	8	初期議会における民党と政府との対立の推移、条約改正交渉が国際情勢の変化の中で進展したことを学ぶ。	大日本帝国憲法が制定され諸法典が編纂される経緯と、大日本帝国憲法の特徴(欽定憲法・天皇大権等)を学習する。	3	政府と民党の主張を整理し、初期議会の対立が激しくなった理由を理解できたか。
9	第2章 東アジア世界の変動と日本 1. 日清戦争と近代社会の確立	日清戦争の経過と下関条約の内容を関連づけて学び、日清戦争を経て、日本・清・朝鮮の関係がどのように変化したか学ぶ。	議会運営のために藩閥と政党が接近し政党の政治的影響力が高まる一方で、軍部大臣現役武官制が定められ、政党の力を制限しようとする動きがあった。戦争を経験することで国民意識の形成が促されたことを学習する。	12	地図を用いて、日清戦争の主な戦場が朝鮮半島から遼東半島・山東半島に広がつていったことを理解できたか。
2	2. 日露戦争と帝国日本の形成	列強による中国分割が進む過程で日本とロシアの対立が生じ、日英同盟が結ばれたことを学ぶ。	朝鮮・満州における利権をめぐって日露戦争が起こり、講和条約を結ぶまでの経緯と、国民の戦争に対する考え方の推移を学習する。 日露戦争後の政治が次第に民衆の要求に答えざるを得なくなつていった経緯を、社会主义の発達との関連を学習する。		日本が台湾、朝鮮を植民地とした経緯とその支配の方針を理解しているか。 辛亥革命により中華民国が成立した経緯とその後の展開を理解しているか。
10	第3章 二つの世界大戦と日本 1. 帝国日本と第一次世界大戦	植民地獲得競争の激化により始まつた第一次世界大戦の時期に、日本が中国への侵略を進めた経緯を学び、そのことが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響について学ぶ。	大正期に労働運動や女性運動などの社会運動が、経済の動向や国際的なデモクラシーの風潮の影響を受けながら組織的に行われるようになつたことを学習する。	12	二十一か条の要求の内容から、日本が中国侵略を進めたのはなぜか考察できたか。 三・一独立運動と五・四運動において人々が要求したこと学び、民族自決とはなにか着目できたか。 大正期に盛んになった社会運動から、当時の社会にどのような問題があつたのか考察できたか。
	2. 政党政治の時代	第二次護憲運動における護憲三派の主張を学び、政党内閣が憲政の常道となり男子普通選挙が実現した背景を、治安維持法も同時期に成立したこと学ぶ。	関東大震災は深刻な経済的打撃だけではなく、人々の意識や行動にも混乱と変化を与え、軍部の影響力が強まるきっかけとなつたことを学習する。		東アジア太平洋地域にワシントン体制が築かれた理由を話し合い、第一次世界大戦後の国際情勢への理解を深められたか。

		3. 軍国日本への道	長く続く不況下で、金融や産業の独占が進み、中国侵略をめざす軍国主義化の機運や社会不安が高まり、さらに世界恐慌の影響を受けた昭和恐慌が起った経緯を学ぶ。	昭和恐慌が深刻化し排外熱が高まる中で、メディアにあおられた国民の支持を受けて満州事変が進んだ結果、昭和恐慌からは回復したものの、日本が国際社会から孤立していく経緯を学習する。	物価や小作争議の発生件数など、いくつかのグラフから昭和恐慌の様相を読み取れたか。
11	4. 太平洋戦争		第二次世界大戦が始まると、ドイツとの同盟を強めることで英米との戦争も辞さないという空気が高まつたことが日米開戦につながつたことを理解し、太平洋戦争の経緯を学ぶ。	大東亜共栄圏の理念と実態について理解し、「大東亜共栄圏」に組み込まれた地域の人々による抵抗について学習する。	戦局が悪化した後も戦争を継続させたことが、国内・占領地での過酷な動員や徵発による人々の暮らしの圧迫や、アメリカ軍の本土空襲による大きな被害につながつたことを理解している。
	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革		沖縄戦の実態を学び、何故住民に大きな被害が出たのか、終戦にいたるまでの日本・アメリカ・ソ連等の動向を学び、アメリカ軍主体の占領が開始された経緯を学ぶ。	平和を模索する動きの中から国際連合が成立した一方、アメリカとソ連を二つの極とする東西冷戦が始まったこと、帝国主義の後退によりアジアやアフリカの諸国が独立したが、冷戦下で独立をめざしたアジア諸国の中には、民族分断を余儀なくされた国があったことを学習する。	写真や映像資料を用いて、沖縄戦における住民の被害について理解しているか。これまでの学習を振り返り、なぜそれらの改革が必要だったのか理解しているか。
12	2. 高度経済成長の時代		戦後社会が直面した危機的な状況を学び、農村や都市で人々が展開した社会運動がめざした内容を学ぶ。	経済再建の優先と労働運動圧迫との関係について学習する。	戦後の危機的な状況の中であっても、自由と平和のもとで人々は活発に活動するようになり、大衆文化が復興したほか、学問や言論の分野でも進展が見られたことを理解しているか。
3	1	第5章 現代の世界と日本 1. 国際秩序のゆらぎと経済大国日本	朝鮮戦争の勃発など東西冷戦が激しくなる中、日本がアメリカ側の諸国のみとサンフランシスコ平和条約を調印し、独立を回復した経緯を学ぶ。	現在にいたるまで諸外国から日本に戦後補償を求める声があがっている理由を学習する。	東西冷戦が続く中で防衛力増強に反対する国民運動を抑制するため、政府は教育や社会運動への統制を強め、保守政党が合同し保守派優位のもとで政治を安定させる55年体制が作られた経緯を理解しているか。
	2. 冷戦の終焉と日本		経済成長を優先した結果、公害などの社会問題が生じ、環境や福祉、平和に対する人々の関心が高まり、革新勢力への支持が高まつたことを学ぶ。	1960年代には政府主導の高度経済成長が実現した一方で、開放経済体制への移行が進み、日本の企業が厳しい国際競争にさらされるようになったこと、過疎・過密や公害などの問題も発生したことを学習する。	高度経済成長が実現したのはなぜか、国内の要因と国際的な要因を理解しているか。
			石油危機後も輸出を増加させて、欧米諸国との貿易摩擦を抱えながら経済成長を続けた日本経済がバブル経済とよばれる事態になった経緯を理解し、当時の人々の生活や大衆文化を学ぶ。	IMF体制の崩壊と石油危機は、日本だけではなく世界の経済に深刻な影響を与えたこと、その後の世界経済の展開を学習する。	高度経済成長がもたらした変化について話し合い、理解を深めた。
			1989年に冷戦が終結した後、EUやAPECなどの地域統合・地域協力が目指される一方、東アジアを含む世界各地でナショナリズムが高まり、地域紛争が多発していることを学ぶ。	現在、世界で進んでいるグローバル化の意味を学び、重層化する世界の中で日本が国内外で抱えている課題、果たすべき役割について学習する。	バブル経済の崩壊とともに、政官財の癒着を生み出した自民党の長期政権への批判が高まり55年体制が崩壊したことを学び、その後、政界再編や構造改革が目指されてきた経緯を理解しているか。

教科名 対象学年	地理歴史 第3学年	科目名 対象コース	地理A スポーツ科学コース(体育)	単位数 履修形態	2単位 必修	
科目の目標	1地理への興味・関心を持ち、主体的に学習する態度を育てる。 2現代世界についての地理的な認識をいっそう深めるとともに、国際社会における立場と役割を考えさせる。					
学習内容の概要	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度 現代世界の地形的な諸課題に対する関心と課題意識を高め追求し、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	思考・判断 現代社会の地理的事象から課題を見いだし、それを多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	技能・表現 地図や統計などの諸資料を集め、有用な情報を選択、活用できるようにする。	知識・理解 現代世界の地理的な諸課題について基本的な事柄の追求の方を理解し、その知識を身につけている。		
教科書、教材など	高等学校新地理A 初訂版(帝国書院)、新詳高等地図 初訂版(帝国書院)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第1部 1章 1節 1 地上の現象と地球上の位置 2 経度の違いと時差 3 球面と平面の世界 4 国家の領域と国境 5 日本の領域と領土問題 2節 1 結びつきを強める現代世界 2 世界を結ぶ交通 3 世界を一つに結ぶ通信 4 拡大する世界の貿易 5 観光の国際化と人々の移動	地図上の位置と国家について理解する グローバル化が進む世界について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度や経度の基本的なしくみと、時差のしくみについて理解する ・地球を地図におきかえるさまざまな図法について理解する ・國家の領土・領空・領海の範囲について理解する ・日本の位置と排他的経済水域の範囲や資源の利用について理解する ・国家間の結びつきが軍事的結合から経済的結合へと変化したことを理解する ・航空交通の発達により、地球規模での国際交流が活発化したことを探る ・日本における観光の国際化について理解する 	6 6	<p>時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>国家の領域とさまざまな国境についての基本的な事がらを理解し、それらの知識を身につけている。</p> <p>結びつきを強める現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>国際的な観光の広がりについての基本的な事がらや追究の方を理解し、その知識を身につけている。</p>

	2章 1節 生活に影響を与える環境条件とは	生活に影響を与える環境条件について理解する	・自然環境と社会環境について理解する	世界の人々の生活・文化は、自然環境や社会環境と深く関わって成り立っていることを理解し、その知識を身につけている。人々の生活と地形に関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
6	2節 1 さまざまに変化する大地と生活 2 世界の大地形と人々の生活 3 山地・平野の地形と人々の生活 4 海岸の地形と人々の生活 5 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	人々の生活と地形について理解する	・地形を形成する内的營力と外的營力について理解する ・河川がつくる山地・平野の地形の種類や特徴と人々の生活との関係を理解する ・海岸でみられる地形の特徴と、人々の生活との関わりについて理解する ・氷河地形・カルスト地形・乾燥地形の特徴や人々の生活との関わりについて理解する	山地・平野・海岸・氷河・カルスト・乾燥地形と人々の生活との関わりについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
6	3節 1 生活と気候のかかわり 2 热帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	人々の生活と気候について理解する	・気候の特徴と人間生活との関わりについて理解する ・各気候区の分布や特徴を理解する	気温・降水量・などの気候要素についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 各気候帯に暮らす人々の生活についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
7	4節 1 生活を支える世界の農業 2 生活を支える世界の工業	人々の生活と産業について理解する	・農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する ・さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する	生活を支える世界の農業、工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。
7	5節 1 生活と宗教・言語のかかわり 2 生活・文化のグローバル化	人々の生活と文化について理解する	・世界の三大宗教をはじめとする宗教の特徴や、宗教と人々の生活との関わりを理解する ・グローバル化が進む世界について、その影響を理解する	生活・文化のグローバル化をめぐる諸課題についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
2	3章 1節 1 中国の自然環境 2 中国の歴史と社会 3 13億人の食を支える農業農民 4 急進する工業と資源・環境 5 生活の変化と格差の拡大	中国の生活と文化について理解する	・中国の社会が日本とどのように異なるかを理解する ・気候と農業との関係と、地域により異なる食文化について理解する ・工業化の変遷とその背景について理解する	中国の内陸部と沿岸部、北部と南部の自然環境の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 中国の経済発展や地域格差についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

	2節 1 朝鮮半島の自然環境 2 韓国の歴史と日本との交流 3 産業の発展と生活の変化	韓国の生活と文化について理解する	・経済発展に伴い、世界各国が注目していることを理解する ・日本と朝鮮半島をめぐる歴史や、韓国と北朝鮮との関係について理解する ・急速な工業の発展はどのようになじめたかを理解する	韓国の歴史や文化について、日本との関わりをふまえながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
9	3節 1 東南アジアの自然環境 2 東南アジアの歴史と民族 3 東南アジアの農業とその変化 4 工業の発展とASEAN	東南アジアの生活と文化について理解する	・歴史や、植民地支配とモノカルチャー経済との関係、多様な民族と文化について理解する ・さかんに行われている稻作の特徴について理解する ・ASEAN域内の結びつきと、近隣諸国との関係について理解する	8 東南アジアの歴史と民族に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。東南アジアの工業化について、モノカルチャー経済からの脱却やASEANの役割をふまえて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	4節 1 インドとその周辺の自然環境 2 インド世界の歩みとヒンドゥー教 3 インドの産業の発展	インドの生活と文化について理解する	・インドとその周辺の自然環境について理解する ・農業の展開を理解する ・自然環境にはどのような特徴があるかを理解する	インドとその周辺の自然環境の特徴について、山脈の位置や季節風(モンスーン)の影響と関連させながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	5節 1 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 2 地域の歴史とムスリムの生活 3 豊かな石油資源と人々の生活	中央アジア・西アジア・北アフリカの生活と文化について理解する	・乾燥した気候のもとで行われる灌漑農業について理解する ・イスラームの歴史と伝播について理解する ・イスラームと人々の生活との関わりを理解する	イスラームと人々の生活との関わりについて基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 豊かな石油資源と人々の生活について基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	6節 1 サハラ以南のアフリカの自然環境 2 サハラ以南のアフリカの歴史と文化 3 変わるサハラ以南のアフリカ	サハラ以南のアフリカの生活と文化について理解する	・アフリカの自然環境の特徴を理解する ・ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する	サハラ以南のアフリカの歴史とさまざまな民族の伝統的文化について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
10	7節 1 ヨーロッパの自然環境 2 ヨーロッパの歩みと文化 3 ヨーロッパの産業 4 ヨーロッパの統合 5 統合による影響と課題	ヨーロッパの生活と文化について理解する	・植民地支配の歴史とその影響について理解する ・多様な地形や、高緯度の割に温暖な気候について理解する ・キリスト教に深く結びついた文化と、宗派や言語の多様性について理解する	8 ヨーロッパの自然環境について、高緯度の割に温暖な気候や地域により異なる地形のようすをふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

11	<p>8節 1 ロシアとその周辺の自然環境 2 ロシアの歴史と社会の変化 3 ロシアの産業と日本との結びつき</p> <p>9節 1 アメリカ合衆国との周辺の自然環境 2 移民の歴史と多文化社会 3 大規模な農業とアグリビジネス 4 先端技術産業の発展と工業の変化</p> <p>10節 1 ラテンアメリカの自然環境 2 混血社会と多様な文化 3 ラテンアメリカの産業とその変化</p> <p>11節 1 オーストラリアとその周辺の自然環境 2 オーストラリアの結びつきの変化 3 自然を生かした産業</p> <p>4章 1節 1 地球的課題の特性とその解決</p>	<p>ロシアの生活と文化について理解する</p> <p>アメリカ合衆国の生活と文化について理解する</p> <p>ラテンアメリカの生活と文化について理解する</p> <p>オーストラリアの生活と文化について理解する</p> <p>複雑にからみ合う地球的課題について理解する</p> <p>世界の環境問題について理解する</p> <p>世界の資源・エネルギー問題について理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアの自然環境の特徴を理解する ・経済を支える資源をめぐる動きや、外国企業との関係について理解する ・自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する ・アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する ・ラテンアメリカの自然環境について理解する ・大土地所有制と農業の変化について理解する ・オーストラリアとその周辺の自然環境について理解する ・自然環境に適した農業が行われていることを理解する ・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域的特徴があるかを理解する ・世界で起こるさまざまな環境問題について理解する ・地球温暖化によってどのような問題が発生するのか理解する ・世界の資源やエネルギーはどこで生産、消費されているかを理解する 	<p>ロシアの産業と日本との結びつきについて、ロシア経済を支える資源をめぐる動きや外国企業との関係をふまえ、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>アメリカ合衆国の工業の変遷や先端技術産業の発展と地域経済統合について、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>ラテンアメリカの産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>オーストラリアとその周辺の自然環境についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>オーストラリアの自然を生かした産業についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>さまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>資源・エネルギーをめぐる問題とその対策や今後のエネルギーのあり方についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	8
12	<p>2節 1 さまざまな環境問題 2 热帯林の破壊とその解決 3 地球温暖化の現状と対策</p> <p>3節 1 限りある資源・エネルギー</p>				

3	1 2章 1 日本の自然環境 2 火山災害と防災 3 地震被害と防災 4 風水害と防災 5 身近な地域の防災を考える 3章 1 地域を調べる課題の設定 2 課題の調査 3 調査内容の発表	<p>世界の人口問題について理解する</p> <p>世界の食料問題について理解する</p> <p>世界の都市・居住問題について理解する</p> <p>身近にあるさまざまな地図について理解する</p> <p>日本の自然環境と防災について理解する</p> <p>身近な地域の課題と地域調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による人口問題の違いやその背景を理解する ・世界の食料生産・消費には著しいかたよりがあることを理解する ・都市への人口集中が世界的に進んだ背景と、どのような都市問題が発生しているのか理解する ・身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する ・GISやGPSのしくみについて理解する ・情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する ・日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくか理解する ・梅雨や台風の時期に発生しやすい風水害の種類と防災について理解する ・地域調査を行うためには、目的やテーマをはっきりさせることができることが大切であることを理解する ・調査内容のまとめ方や発表方法を習得し、実践する 	<p>世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている</p> <p>世界の食料をめぐる課題について、生産と消費の著しいかたよりに着目し、その解決に向けた取り組みなどについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界の都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用について紙地図と比較しながら、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 自分で地図を作成することへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。</p> <p>身近な地域で発生しやすい災害を捉え、自分たちにできることを考察し、その知識を身につけている。</p> <p>調査発表に資する諸資料を收集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 調査内容のまとめ方や発表方法についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
4				

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の定着と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	中学校内容から数学IAの全範囲までの基礎基本を確認しながら数学検定準2級までを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 数学への関心・意欲・態度	B 数学的な見方や考え方	C 数学的な表現・処理	D 数量・図形などについての知識・理解		
	既習内容の全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、既習内容の全範囲における数学的な見方や考え方を身につけている。	既習内容の全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	既習内容の全範囲における基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	改訂版 新 高校の数学I /新 高校の数学A(数研出版) プリント					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	1. 方程式と不等式	基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身につける。 各項目において基本レベルから標準レベルの問題の解法を身につける。	例題で基本事項をおさえ、類題を解く。	6	A/B/C/Dの総合評価
	5	2. 関数とグラフ			6	
	6	3. 平面図形			8	
	7	4. 三角比			8	
2	8	5. 場合の数と確率		2		
	9			8		
	10			8		
	11			8		
3	12	実践問題		8		
	1			4		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育クラス)	履修形態	必修	
科目の目標	心と体が一体であることや体力の高まりを実感したり技能を獲得したりするなどの過程を通して、合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識させ、動きの獲得や技ができる喜びなどの各領域特有の特性や魅力を深く味わうとともに、公正、協力、責任、参画などの社会的態度を養う。					
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	運動技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。		自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	特になし					
授業形態	実技(男女別合併授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	オリエンテーション 体育理論 体づくり運動 新体力テスト	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。 スポーツの歴史、現代スポーツの特徴。 体づくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。 自己の体力と運動能力を把握する。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。 豊かなスポーツライフの設計や生涯スポーツについて考える。 健康の保持増進や科学的に体の仕組みを理解する。 正しい測定を行い、自己の能力診断を昨年と比較し、分析する。	9 9	授業中の行動の観察 授業中の行動の観察 評価テスト(総時数6時間) 授業中の行動の観察 実技テスト 診断テスト結果
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目特有の技能を高め、体の使い方を科学的に理解する。	12	授業中の行動の観察 実技テスト
2	7 8 9 10 11	バレーボール ソフトボール サッカー バスケットボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	安全面を意識しながら各チームで協力してゲームを展開し、課題解決ができるようにする。	12 3 9 12 12	授業中の行動の観察 実技テスト 授業中の行動の観察 実技テスト
3	12 1	バドミントン	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	安全面を意識しながらペアで協力してゲームを展開し、課題解決ができるようにする。	6	授業中の行動の観察 実技テスト

教 科 名	外 国 語	科 目 名	コ ミ ュ ニ ケ シ オ ン 英 語 I	単 位 数	3 单 位
対 象 学 年	第 3 学 年	対 象 コース	ス ポ ツ 科 学 コース(体 育)	履 修 形 態	必 修
科 目 の 目 標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。				
学習 内 容 の 概 要	1)情報や考えなどの受け手や送り手になるように具体的な使用場面を設定して、次のようなコミュニケーション活動を行う。 ア 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる。 イ 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえる。 ウ 聞いたり読んだりして得た情報をもとに、自分の考え方・意見を表現し、書く。 2)上記のコミュニケーション活動を行う上で、以下の事項を踏まえる。 ア リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴に注意しながら、発音する。 イ コミュニケーション活動に必要となる基本的な文型や文法事項などを理解する。 ウ まとまりのある文章を音読し、英語の文章の流れに慣れる。 エ ジェスチャーなどの非言語的手段の役割を理解する。				
科 目 の 評 価 基 準 (観点及びその趣旨)	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化についての知識・理解	
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション活動を図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを適切に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	
教科書、教材など	VISTA English Communication I New Edition(三省堂)				
授業形態	学級単位による授業				

年 間 授 業 計 画

学 期	月	单 元	单 元 の 目 標	学 习 内 容 (実験・実習等)	時 间	評 価
1	4	・Get Ready!① さがしてみよう ・Get Ready! ② 辞書で調べてみよう ・Get Ready! ③ 言ってみよう ・ののちゃんの英文法 L.1 Kerama Blue L.2 Cool Japan	・アルファベットを復習する。 ・単語の書き方を復習する。 ・英語の学習用辞書を引けるようする。 ・基本的な教室での会話をできるようする。 ・本課に入る前の、中学校における基礎の確認をする。 ・慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について考える。 ・日本の魅力を、外からの視点を通して知る。	・文字、単語 ・主語、be動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞 ・be動詞 ・一般動詞 ・疑問文 ・現在進行形 ・過去形	9	A: 基本的な英語の音声に慣れ、学んだ表現を積極的に発話しようとしている。 B: 平叙文のイントネーションを正確に用いて話すことができる。 C: 肯定文と否定文を聞き分けることができる。 D: be動詞と一般動詞の平叙文、否定文についての知識を身につけている。 A: 基本的な英語の音声に慣れ、学んだ表現を積極的に発話しようする。 B: 平叙文のイントネーションを正確に用いて話すことができる。 C: 肯定文と否定文を聞き分けることができる。 D: 多様な生物が生息するサンゴ礁の役割について理解している。
	5	L.3 Mexican Dishes Look and Learn 1 L.4 The Olympics Take a Break! 1 宝の箱をさがそう	・世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知る。 ・近代オリンピックの発祥と理念、またパラリンピックについて知る。 ・暗号文の解読を通して、文脈を推測しながら読む方法を学ぶ。	・助動詞 ・文法のまとめ(代名詞／基本文型(1)／肯定文・否定文・疑問文・命令文／助動詞) ・SVO(O = that ~) ・SVOO, SVOC	9	A: 積極的に英語で表現しようとする。 B: 定型表現を使って自己紹介ができる、話そとどすることを正確に伝えられる。 C: 書かれたものを正しく読み取れる。 D: 過去形の基本的な知識がある。

1	6	L.5 Baobabs in Madagascar ENJOY COMMUNICATIO N! 1 Nice to Meet You. Look and Learn2 Reading Skill 1	・バオバブが直面している問題を知り、どうしたら保護できるかを考える。 ・初対面の場面でのコミュニケーション活動。 ・主語・動詞を見つけられるようにする。	・不定詞 ・文法のまとめ(基本文型(2)／不定詞)	12	A: 学んだ文法事項に注意して英語を聞こうと努力している。 B: 適切なポーズをとって、聞き手にわかりやすく話すことができる。 C: 聞いた内容についてのポイントを聞き取ることができる。 D: 2つの概念を1文にまとめる英文の基本的な形を理解している。
	7	Take a Break! 2 ののちゃん L. 6 Toothbrushing in Edo L.7 Machu Picchu	・漫画「ののちゃん」を、英語を通して鑑賞する。 ・江戸時代の生活習慣(歯磨き)について知る。 ・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知る。	・動名詞 ・現在完了形		A: 動名詞に注意して、学んだ表現を積極的に活用しようとしている。 B: [ou][ɔː][θ][ə]の音を正確に発音することができる。 C: プレゼンテーションの内容を正しく聞き取ることができる。 D: 楊枝はインドで始まり日本文化の中で発達したものであることを知っている。
2	8	ENJOY COMMUNICATIO N! 2 Today's Special Look and Learn 3 Reading Skill 2	・レストランやカフェの場面でのコミュニケーション活動。		3	A: 質問や依頼の内容を正確に聞こうとしている。 B: レストランの場面で必要な語彙・表現を正確に発音できる。 C: メニューを読み取ることができる。D: レストランでのコミュニケーションに必要な語句を身につけている。
	9	L.8 Motala and Landmines Take a Break!3 歌つてみよう L.9 Dick Bruna	・人間のおこなっていることのどのような面をモタラの話が象徴しているかを考える。 ・「Wings to Fly」の歌を通して、英語の歌詞に親しむ。 ・「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナの社会的役割を知る。	・文法のまとめ(動名詞／現在完了形) ・文をつなぐ語を知る。 ・受け身・関係代名詞	12	A: 話の要点に注意し正確に聞こうとしている。 B: [aɪr][ər]や規則動詞の過去形、過去分詞形の語尾-edを発話できる。 D: 受け身の文法的な働きと意味を理解している。 D: 「ミッフィー」が世界的に様々な活躍をしていることを知っている
3	10	ENJOY COMMUNICATIO N! 3 How About This One? Look and Learn 4 Reading Skill 3 L.10 Tsujii, the Great Pianist Take a Break! 4 英語で言ってみよう	・買い物の場面でのコミュニケーション活動。 ・語句のかたまりを正しく区切れるようにする。 ・辻井伸行さんのインタビューを通して、偉業を達成するためには何が大切なかを考える。 ・スポーツを表す語彙に親しむ。	・文法のまとめ(受け身／関係代名詞) ・関係副詞 ・形式主語It It is ~ (for A) to do ... , It is ~ that A do ...	12	A: 複数形の-sの発音に注意しながら発話しようとしている。 B: 関係副詞や形式主語の文法に従って、正しく話すことができる。C: 複数形の-sと[w]を聞き取ることができる。 D: 日本人の世界的活躍の一例を知っている。
	11	L.11 Ideas from Nature ENJOY COMMUNICATIO N! 4 It's on Your Left.	・自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知る。 ・道案内の場面でのコミュニケーション活動。	・分詞構文	12	A: 個人、ペアワーク、グループワークで、英語力を駆使して積極的に発話しようとしている。 B: 分詞構文の文法に従って正確に書くことができる。 C: 口頭で読まれた自然な英語の内容を聞き取ることができる。 D: 人間の文化は、自然から多くの恩恵を受けていることを理解している。

	12	L.12 Steve Jobs Look and Learn 5	・スティーブ・ジョブズのこ とばや生き方から読み取 れるメッセージについて 考える。	・仮定法過去 ・文法のまとめ(関係 副詞／形式主語it／ 分詞構文／仮定法過 去)	12	A: 英語による情報の発信を積極的に行おうとしている。 B: [ʃ] [v] や, 強勢, 区切り, 連音の発音が正確にできる。 C: 仮定法過去が含まれた英文を聞き, 内容を正確につかむことができる。 D: 仮定法過去の文法的役割と意味を知っている。
3	1	ENJOY READING! The Little Prince	・名作『星の王子さま』を 鑑賞する。		6	A: これまでに学習した事項を思い出しながら, 意欲的に物語を読もうとしている。 B: 簡単な物語の概要を, これまで学習したことに基づいて正しく話すことができる。 C: 物語の内容を正しく聞き取ることができる。 D: 言語は単に情報を正確に伝えるための手段であるばかりでなく, 人間が文化を創造する原動力になっていることを知っている。

教科名	保健体育	科目名	スポーツ概論	単位数	1単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修	
科目の目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。また、体育・スポーツに関する幅広い知識と専門性を身につけさせ、将来のスポーツ指導者として体育・スポーツの発展に寄与できる人材を育成する。					
学習内容の概要	運動技能を構造的に理解できるようにするとともに、その上達過程と上達の程度を把握する方法を理解できるようにする。また、自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方について理解できるようにする。そして、体育・スポーツが抱える諸問題について、また、健康や運動をめぐるスポーツ科学の最新理論についてもより深く理解させ、将来の指導者に相応した専門知識をしっかりと学ばせる。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	①関心・意欲・態度 ・運動やスポーツが多様であることについて(情報を集めたり、意見交換したりするなど)の活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・授業の出席状況が良好である。	②思考・判断 ・運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 ・運動の安全性について課題解説の方法を考え、その選択すべき行動を適切に判断している。	③技能・表現 ・自己の能力と運動の特性に応じた課題尾の解決を目指して、運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けていているか。	④知識・理解 ・運動やスポーツの必要性と楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツへの多様なかわり方について、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツの安全性・学び方について、言ったり書き出したりしている。		
教科書、教材など	教科書:最新 体育・スポーツ理論(大修館書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第3章 運動技能を高め実力を發揮する	1理解しよう、運動技能の構造と上達のしかた 2合理的な練習をめざそう 3いつでも実力を發揮しよう 4調べてみよう、技術力向上の実際	①運動技能の成り立ちを知る ②運動技能の上達をたしかめる ③かしこいドリルを行 ④トレーニングメソッドを学ぶ ⑤練習の仕方を工夫する ⑥知っておきたい実力発揮の条件 ⑦やってみよう、メンタルトレーニング ⑧テニス ⑨陸上競技 ⑩バスケットボール ⑪ラグビー ⑫サッカー ⑬柔道 ⑭競泳 ⑮国立スポーツ科学センターの組織と強化システム ⑯JOCの国際競技力システム	3 3 4 4 1 4 4	運動技術と運動技能を理解する。 運動技能の特徴を理解する。 運動技能の上達過程を理解する。 ドリルの計画を立てる。 ・目標設定 ・段階的練習 補助者・補助具の必要性を理解する。 試合で実力を發揮するための方法を理解する。 各種目・各組織の実態を理解する。
2	5 6 7 8 9 10					

		第4章 やってみよう、体力トレーニング	1トレーニングで進化する私たちの体	①トレーニングは体のしくみを変える ②トレーニングは体力を高める ③トレーニングは記録をぬりかえる	4	有酸素トレーニングについて理解する。 無酸素トレーニングについて理解する。 動きつくりについて理解する。
3	12		2体力トレーニングのPDCA	①体力トレーニングを計画する ②体力チェック ③目的別のトレーニングをおこなう	4	トレーニングの原則について理解する。 新体力テストについて理解する。 目的別のトレーニングについて理解する。 ・スタミナをつける ・パワーを増大させる ・スピードをあげる ・柔軟性を高める
	1				2	

- ** -

教科名	保健体育	科目名	スポーツⅡ	単位数	1単位
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修
科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになるとともに、体の調子をととのえ、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動することができる資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	自己の能力に適した課題を持って基本動作をおこない、技能を高めたり記録を高めたりすることができるようとする。また、教科の特性を的確にとらえ、ルール等を正確に理解するとともに、チームの和の大切さを育みながら、それぞれの種目において協調性を持って取り組むようにする。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度 各時の取り組みにおいて、向上心を持って自らが積極的に参加、活動しているかどうか。	思考・判断 各時の取り組みにおいて、おかれている状況を理解し、その場に応じた取り組みができるかどうか。	運動の技能 各時の取り組みにおいて、技術の向上に努力した結果、その技能に向上が見られるかどうか。	知識・理解 各時の取り組みにおいて、それぞれの特性について理解し、ルール面においても正しく理解した上で実践できているかどうか。	
教科書、教材など	特になし				
授業形態	実技・学級単位(男女混合授業)				

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	オリエンテーション 集団行動	目標や年間計画を知り、授業の進め方を理解する。 指示に従い集団での規則正しい行動ができるようとする。	3	受講態度の観察 受講態度の観察 リーダーシップと協調性の確立
	5	新体力テスト 【実施種目】 バスケットボール バレーボール ソフトボール	正しい測定方法を知り、正確な測定をする。自己の体力向上に意欲を持ち取り組む。	3	受講態度の観察 テスト結果
	6	【実施種目】 バスケットボール バレーボール	授業に際しては、体育委員が教員と連携をとり、場所の確認等をおこなう。各種目の実施においては、それに応じた十分な体ほぐしを行ってから実施する。	4	各種実技テスト 受講態度の観察
	7	ソフトボール		4	欠席見学状況
	8	集団行動(体育祭に向けて) 【実施種目】 サッカー			4月に確認した集団行動の基礎をさらに発展させて、「見せる演技」の完成に向けて取り組む。
	9	バスケットボール	※実施種目について 『バスケットボール・バレーボール』	1	
	10	バレーボール	基本技術を身につけ、その発展がゲームにつながる事を理解させる。	4	
	11	バドミントン	チームプレーや審判法の理解。	4	
	12	フットサル	『サッカー・フットサル』	4	実施種目全てを通して、体力や技術のレベルアップはもちろん、その場面に応じた適切な状況判断や、周囲との協調性を育めるか、ルールや決まりに対する規範意識があるかなど、総合的に観察をおこなう。
	1		基本技術を身につけ、ゲームにおいては攻守の切り替えをスピーディーにおこなうとともに、チームプレー並びに審判法を学ぶ。	2	
2			『ソフトボール』		
			基本技術を身につけ、その発展がゲームにつながる事を理解させる。		
			チームプレーや審判法の理解。		
3			『バドミントン』		
			基本技術を身につけ、ラリーを楽しむ事からはじめ、対戦できる技術につなげる。ルールの理解。		

教科名	保健体育	科目名	基礎体力	単位数	3単位
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修
科目の目標	心と身体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。				
学習内容の概要	スポーツに限らず、神経・筋肉・関節へのストレスの除去、老廃物の除去等、身体に有益な状態を作りだす初動負荷トレーニングの理論・トレーニング方法を習得し、神経と筋肉の合理的な協調性(神経筋協応能)を高める。また、トレーニングにより「弛緩→伸張→短縮」の一連のサイクルを促進させ、パフォーマンスの向上を図る。人体解剖学などにより身体の仕組みを理解する。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考判断	運動の技能	知識・理解
	初動負荷理論に関心を持ち、競技力の向上には何が必要かを考え実行できる態度が身についている。		初動負荷理論についての思考を深め、日常生活での活用方法を適切に判断できるようになる。	基礎体力の授業を通して必要な技能を習得し、実際の場面で成果を発揮できるようになる。	初動負荷理論に関する基礎的な知識を身につけ、その役割について理解できる。
教科書、教材など	特になし				
授業形態	実技及び講義(学級単位による授業)				

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	トレーニング	関節可動域の測定 ストレッチ(肩・股関節)	9	現時点の肩関節・股関節の可動域を知ることにより、筋肉の柔軟性がどのくらいであるかを理解させ、筋肉の柔軟性・弾力性から更なるパフォーマンス・健康の向上推進させる。
	5		高校総体予選まで、身体能力を保持し、疲労などを除去し、良いコンディショニングで臨めるよう取り組む。	9	
	6			12	
	7			12	
	8		高校総体出場者は、更にコンディショニング調整を行う。	3	3年間の成果として、初動負荷理論から得られる柔軟性・弾力性をパフォーマンスにつなげ、良いコンディショニングで大会に臨めるようにする。
	9			12	
	10			12	
	11		部活動終了者は、部活動時の身体能力を維持し、初動負荷理論が健康にも大きな効果をもたらすことを体感する。卒業後も競技を継続するものは、柔軟性・弾力性の向上を図り、競技のパフォーマンスの向上に努める。	12	初動負荷理論が競技だけではなく、健康にも非常に有効なトレーニングであることを理解させ、生涯の健康に役立つことを認識させたい。
	12			12	
3	1			6	

教科名	総合	科目名	簡易ソフト	単位数	2 単位
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	必修
科目の目標	文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアの基礎的な知識・操作を学習する。基礎的な関数を学び、与えられた問題を理解し、素早く処理する応用能力、実務的能力を身につけさせる。また、複数の聴取者に情報をわかりやすく正確に伝える力を身につけさせる。				
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文書処理 ・表計算処理 ・プレゼンテーション処理 				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度 ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。	B 思考・判断 情報をビジネスに活用するために目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用し、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。	C 技能・表現 表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアを用いて情報の整理や加工分析などの基礎的な技術を身につけビジネス情報の活用ができる。また、多数の人の前でプレゼンテーションができる。	D 知識・理解 ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するために必要な知識を身につける。	
教科書、教材など	Word Excel PowerPointの基本操作Office2016(東京書籍)				
授業形態	実習				
年間授業計画					
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間
1	4	文書処理ソフトウェア Wordの操作	入力した文字を高度な編集機能を使って体裁を整え、表現力豊かな文書を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の編集 ・罫線 ・画像等の挿入 	6
	5				6
	6				8
	7	表計算ソフトウェア Excelの操作	コンピュータの応用的な仕組みや働きを理解。高度な関数の働きを理解及び図形作成。	<ul style="list-style-type: none"> ・データの入力と計算 ・集計用の表の作成 ・平均を調べる表とグラフ ・2軸のグラフの作成 	8
2	8				2
	9				8
	10	プレゼンテーションソフトウェア PowerPointの操作	複数の聴取者に情報をわかりやすく正確に伝えるプレゼンテーションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース機能の利用 ・スライドの作成 ・オブジェクトの作成・操作 ・図、表の挿入 ・アニメーションの設定 ・スライドショーの実行 ・プレゼンテーションの実施 	8
	11				8
	12				8
3	1				4

教科名	総合	科目名	選択スポーツ	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学 体育クラス	履修形態	必修	
科目の目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。					
学習内容の概要	学ぶ内容を生徒自身が選択し、自分の学びたい競技に対して能動的かつ、積極的に取り組みをおこなう。実技のみにとどまらず、コンディショニングや理論も合わせながら授業をおこない、その専門性をより深く学べる機会とする。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解		
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。		
教科書、教材など	特になし					
授業形態	実技(学習内容選択型授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション 選択競技の選択	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようとする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察
	5	各分野での活動	県総体に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	6	授業中の行動の観察
	6	各分野での活動		専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
	7	各分野での活動	全国大会に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
2	8				2	
	9	各分野での活動	新人戦に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
	10	各分野での活動			8	
	11	各分野での活動			8	
	12	各分野での活動			8	
3	1	各分野での活動			4	授業中の行動の観察

教科名 対象学年	国語 第3学年	科目名 対象コース	現代文B スポーツ科学コース(特進)	単位数 履修形態	3単位 必修	
科目の目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する能力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、更に言語感覚を磨き表現力を身につけ、自ら積極的に読書する姿勢を身につけることにより人生を豊かにする態度を育てる。					
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 文章の的確な読解を通して、客観的な理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。 現代社会で求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。 					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
教科書、教材など	教科書:精選現代文B (東京書籍) 補助教材:精選現代文B 学習課題ノート(東京書籍)、常用国語便覧(浜島書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	文学の未来 言語と記号	抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	5	檜櫟 スペインスタイルの家	小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、題名について考える。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	6	環境問題と孤立した個人 鏡の中の現代社会	近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。	話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考えを深める。 さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 ・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	7	クレールという女 言葉を生きる	随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。	自己の体験と結びつけて読み解き、話し合う。	12	・作品を表現に即して深く読み取り、作者の感動の焦点をおさえ、味わうことができたか。

2	8	社会の壊れる時	叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。	3	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	9	他者の声 実在の声 原始社会像の真実	筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	比喩や例示の意図を理解することで要旨を捉え、哲学的な思考の方法を理解する。 時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 ・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	10	舞姫 平気	文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係を考える。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 ・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	11	私大試験対策	私大受験に向けた学力を身につける。	・選抜試験対策問題演習	12	読む能力、知識・理解
	12	トランジット サッカーにおける「資本主義の精神」	現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。 社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	登場人物の言動・心理などを表現に即して読み取り、「出会い」の持つ意味について考える。 スポーツがいつ頃どのように成立したか、知っていることを発表したり、推測したりする。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績 ・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
3	1	私大試験対策 抗争する人間	私大受験に向けた学力を身につける。 社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。	・選抜試験対策問題演習 人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、自らに即して考える。	6	読む能力、知識・理解 ・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲との確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修	
科目の目標	古典としての古文と漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。					
学習内容の概要	古文および漢文を読解し鑑賞するために、読み、語句、文法事項、表現上の特色等を理解して古典に親しみ、文章に現れた思想、感情、古典常識を通してものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、日本文化との関係について考える。以上の観点から指導し、共通テストに対応できる学力を身につける。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重する姿勢を持ち、進んで古典に親しもうとしている。	古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて、筋道を立てて自分の考えをまとめ、発表したり話し合ったりすることができる。	学習した古典の作品について、積極的に情報を収集・活用して進んで表現することで、自分の考えをまとめるとともに深めることができる。	文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。また、古典に表れた思想や感情を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにすることができる。	古典の理解に役立てるための音声・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	教科書:『精選古典B改訂版』(三省堂) 標準教科書:『体系古典文法』(数研出版) 『体系古典文法 準拠ノート』(数研出版)『新明説漢文』(尚文出版)『重要古文単語315』(桐原書店)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	(古)隨筆 『枕草子』	・隨筆を読むことにより、作者の自然観、人生観を理解する。	作者の美意識やものの見方を、正確な口語訳をし読み取る。	9	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。
	5	(漢)史伝 『三国志』	・時代を生きた典型的な人間像を探り味わい史伝への興味を深める。	登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。	9	基本的な句法を理解し、登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。
	6	(古)物語 『源氏物語』	・登場人物の人間関係を正確に掴み、微妙な心理の変化を理解する。	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取る。	12	基本的な敬語法を理解し、登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。
	7	(漢)漢詩 ・桃夭・生年不滿百 ・秋風辭・飲酒 ・子夜吳歌・兵車行 (古)日記 『蜻蛉日記』 『和泉式部日記』 『紫式部日記』 (漢)小説 ・人面桃花 ・杜子春伝	・漢詩の特徴を理解し、詩に託された思いや描かれた情景を味わう。 ・敬語について正しく理解し読解の手がかりとする。	近体詩との相違点を調べ、辞書などを用いて漢字の意味から語意を考える。 ・場面を捉えながら人物像を把握し、それぞれが何を語ろうとしているのかまとめる。 話の展開を整理し、登場人物の言動や心情を読み取る。	12	古体詩の詩形の多様性について理解し、それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。 作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。
			当時の死生観や人生観、恋愛観などから話の面白さを味わう。			基本的な語法を理解し、登場人物の人間像と心情の動きを読み取っている。

2	8 9	(古)物語 『大鏡』 (漢)史伝 『史記』	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の時代背景、社会背景を理解したうえで正確に読解する。 ・時代を生きた典型的な人間像を探り味わい史伝への興味を深める。 	<p>歴史背景を調べ、登場人物の境遇や心情を読み取る。</p> <p>古代中国の歴史が持つ面白さや登場人物の魅力を話し合う。</p> <p>古典に表れた人間の生き方や考え方について、文章中の表現を根拠にして話し合う。</p>	3 12	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。
						著名的な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 和歌の本質について考えようとしている。 筆者の考え方を現代と比較しながら理解している。
10	10	(古)評論 『古今和歌集仮名序』 『無明草子』 『風姿花伝』 『去来抄』	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな評論を読み、古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を知ることで、わが国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。 	<p>私大試験対策</p> <p>私大受験に向けた学力を身につける。</p> <p>儒家・道家をはじめとする思想を理解し、人間の生き方やあり方についての考えを深める。</p>	12	読む能力、知識・理解
						簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。
3	1	私大試験対策	私大受験に向けた学力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜試験対策問題演習 ・一語一句の意味、語順、文脈に注意しながら内容を正確に読み解する。 	6	読む能力、知識・理解

教科名	地理歴史	科目名	日本史B	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修	
科目の目標	<p>我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を統合した幅広い見方で大きく把握させる。同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを重視している。その際、諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養うことがこの科目のねらいである。</p>					
学習内容の概要	<p>1 「近代日本の形成と世界」では、近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。</p> <p>2 「両世界大戦期の日本と世界」では、近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。</p> <p>3 「現代の日本と世界」では、現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連づけて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界中の日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界中の日本の立場について認識させる。</p>					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	a. 関心・意欲・態度		b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史展開に関心と問題意識を高めているか。 ・民主的、平和的国家、社会の一員としての自覚を深め、現代日本社会に生きる意欲を高めているか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の知識を踏まえて、現代日本の課題を歴史的視点から考察しようとしているか。 ・追求し、考察した過程や結果を適切な方法で表現しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の基本的な事柄に関する諸資料を様々な方法で収集しているか。 ・日本史の理解に必要な情報を主体的に選択して活用し、歴史的事柄を追求する方法を身に付けていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史を理解するために必要な知識を身に付けているか。 ・日本史と世界史を関連づけながら理解しているか。 ・地域の歴史と日本史の関連を理解しているか。 	
教科書、教材など	教科書:詳説日本史B(山川出版) 補助教材:日本史のライブラリー(とうほう)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	單元	單元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目し、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・開国後の江戸幕府の崩壊がどのように進み、天皇を中心とする近代国家がどのように形成されたかを理解させる。 ・日清・日露の両戦争を通して大陸政策がどのように進められたかをまとめさせる。 ・日清戦争後の思想家の間で国家主義的傾向を示したことを理解させる。 	6	日米和親条約・修好通商条約締結、開港により政局への影響、公武合体、尊王攘夷、討幕、藩置県・徵兵制・四民平等・秩禄处分・地租改正・殖産興業政策、明治政府の中央集権体制、近代化政策や欧米文化の導入、国会開設要求の運動、憲法の特色、議会と内閣の在り方、条約改正、日清・日露戦争の背景、殖産興業政策、劣悪な労働条件に対する労働争議や社会主義運動、国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢等考察できたか。
	5	3. 立件国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達				
	6				8	

	第10章 二つの世界大戦と アジア			
7	1. 第一次世界大戦 と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の 変容と大衆文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移や政党政治の発展、日本の中国進出の状況を踏まえて考え、第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を理解する。	・大戦への参加の意義や大戦処理について世界の動向と日本の立場を理解させる。 ・政党の無力化が政治に対する批判を生んだことを考えさせる。 ・軍部の台頭が何によるものかを考えさせる。 ・大正デモクラシー時代と戦争の拡大期にみられる学術や芸術の展開をまとめる。	12
2	8	第11章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と 講和	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解する。	・サンフランシスコ兵 岩条約や日米安全保障条約について考えさせる。
9		第12章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から 高度成長へ	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。	・高度経済成長以降、国民生活がどのように変化したかを考えさせる。
10		第13章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と 日本社会の動搖	高度成長が終焉し、保守政権が動搖するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考える。	・戦後の日本の復興と発展を国際関係の推移から捉え、現在社会における課題を考える。
11	12	大学入試問題演習		今までの学習内容を整理しつつ入試問題演習を行うことで実践的な力を養う。
1				第一次護憲運動による大正政変、対華二十一箇条要求・シベリア出兵、資本主義の発展による産業構造の変化や労働者の増加、デモクラシー思想の浸透による政党の役割、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や日本の大陸進出に対する民族運動の高揚、満州事変から国際連盟の脱退、管理通貨制度への移行、日中戦争・太平洋戦争、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目できたか。 GHQの諸政策、対日占領政策、日本の国民の戦争に対する反省、主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の3原則を中心とする日本国憲法が制定、日本の主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を考察できたか。 経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生、日ソ共同宣言、国際連合加盟特需景気、産業構造の高度化、耐久消費財の普及、流通網・交通網の整備、農村の過疎化や公害問題などの社会問題にも注目したか。 ドル=ショックや第四次中東戦争、石油危機柄御技術革新で乗り越えた日本がODAなど社会貢献や貿易摩擦・円高への対応、冷戦終結後の東欧革命、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取りあげ考察できたか。
			12	資料から必要な情報を適切に読み取れたか。 情報や既習知識を組み合わせて因果関係を考察できたか。 歴史の展開における意味や意義を解釈できたか。 どの解釈や歴史叙述が妥当性を持つのかを判断できたか根拠を基に筋道立てて考えを考察できたか。
			12	
			6	

教科名	公民科	科目名	公民	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修	
科目の目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	<p>(1) 現代社会における諸課題の中で、社会の在り方生き方を考察する基盤として、幸福・正義・公正などについて理解し、現代社会に対する関心を高めて、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。</p> <p>(2) 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解するとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察する。</p>					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	<p>a. 関心・意欲・態度</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身につけているか。平和で民主的なよりよい社会に実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。</p>		<p>b. 思考・判断・表現</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見出し、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。</p>	<p>c. 資料活用の技能</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身につけているか。</p>	<p>d. 知識・理解</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。また、学び方を身につけているか。</p>	
教科書、教材など	4ステージ演習ノート 現代社会(数研) ※予定 最新現代社会資料集(第一学習社)					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	單元	單元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	第5章 国際社会と人類の課題	貿易と国際分業、外国為替の仕組み、国際收支などを理解する。また、戦後の国際経済の枠組みを理解する。	国際経済のしくみと動向	6	<p>a. 現代社会の経済・国際関係にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。</p> <p>b. 現代社会の経済・国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。</p>
	5		国際連合、東西対立等国際政治が抱える諸問題について様々な観点からとらえられるようにする。	国際政治のしくみと動向	6	<p>d. 現代社会の経済・国際関係にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。</p>
	6		国際経済、国際政治の基本を理解し、日本が国際社会において果たすべき役割を考察する。	国際社会の現状と課題	8	<p>b. 人間にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。</p> <p>c. 得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身につけているか。</p>
	7	《第3部》 ともに生きる社会をめざして	現代社会の課題を、幸福、正義、公正といった倫理的な視点にたって探求する。	個人と社会 社会と社会 現役世代と将来世代	8 2	<p>b. 人間にかかわる事柄から課題を見いだし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。</p> <p>d. 人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解しているか。</p>
2	8					

2	9	問題演習	単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テスト形式の出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	10		単元ごとに基本事項を確認するとともに共通テスト形式の出題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	11		総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
	12		総合問題、複合問題に対応できる力を身につける。	共通テスト演習	8	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。
3	1		本番形式の予想問題等を解くことにより実戦力を身につける。	共通テスト演習	4	d. 現代社会の経済・国際関係にかかる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身につけているか。

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修	
科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。					
学習内容の概要	数学IAの全範囲から、基礎基本を確認しながら大学入試センター試験レベルまでを演習する。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A: 数学への関心・意欲・態度	B: 数学的な見方や考え方	C: 数学的な表現・処理	D: 数量・図形などについての知識・理解		
	数学IAの全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学IAの全範囲における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学IAの全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学IAの全範囲における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。		
教科書、教材など	改訂版 3TRIAL数学I+A (数研出版) プリント					
授業形態	講義・演習					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	式の計算	IAの範囲の基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身に付ける。		9	A/B/C/Dの総合評価
	5	1次不等式の解法			9	
	6	集合			12	
	7	命題と論証			12	
	8	2次関数			3	
	9	2次関数の最大・最小			12	
2	7	2次方程式、2次不等式				
	8	三角比の基本				
	9	三角比と図形				
	10	データの分析				
		場合の数			12	

		順列・組合せ				
2	11	確率			12	
	12	図形の性質			12	
3	1	整数の性質			6	
		総合演習				

教科名 対象学年	外国語 第3学年	科目名 対象コース	コミュニケーション英語III スポーツ科学コース(特進クラス)	単位数 履修形態	5単位 必修	
科目の目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p> <p>具体的な言語活動は以下の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>					
学習内容の概要	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語を読んで情報や考えを理解したり概要や要点をとらえたりする。聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだり学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合い意見の交換をする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p>ア. リズムやイントネーションなどの音声的な特徴、話す速度、声の大きさに注意し聞いたり話したりすること。</p> <p>イ. 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ. 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	B:外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	C:外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	D:言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。		
教科書、教材など	LANDMARK Fit English Communication III					
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson1 Emperor Penguins	<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンの身体的特徴や能力、生息場所について理解する。 ・コウテイペンギンの集団行動とその理由を理解する。 ・コウテイペンギンの子育ての仕方を理解する。 	<p><動物・環境></p> <p>南極の厳しい環境を生き抜くコウテイペンギンの生態</p>	15	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。</p> <p>C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。</p> <p>D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストペンギンについて理解する。 ・コウティペンギンに関する会話を聞く。 ・コウティペンギンの特徴について書く。 ・コウティペンギンの特徴について会話する。 		
	5	Lesson2 Caffeine	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェインの日常的な使用と効果、文化の関わりを理解する。 ・カフェインによる健康被害の可能性について理解する。 ・カフェインの効果的な摂取量について理解する。 ・カフェインの利点について理解する。 ・カフェインの摂取に関する会話を聞く。 ・カフェインの摂取について書く。 ・カフェインの摂取について会話する。 	<p><食物・健康> さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点</p>	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
1	5	Lesson3 Blood Is Blood	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の黒人差別の実態を理解する。 ・ドルーが発見した輸血方法について理解する。 ・黒人差別と闘うドルーの主張を理解する。 ・活動を通じてドルーが証明したことを理解する。 ・献血に関する会話を聞く。 ・献血に対する意見を書く。 ・献血に関する意見交換をする。 	<p><人権・生き方> 血液の研究と人種差別撤廃に生涯を捧げた黒人医師</p>	<p>15</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	6	Lesson4 Biomimetics	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオミメティクスとは何か理解する。 ・新幹線に応用されたバイオミメティクスを理解する。 ・注射針に応用されたバイオミメティクスを理解する。 	<p><自然・化学> 自然を模倣することで生み出される画期的な製品</p>	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・無生物によるバイオミメティクスの事例を理解する。 ・バイオミメティクスの事例に関する会話を聞く。 ・バイオミメティクスの事例について書く。 ・バイオミメティクスの事例について会話する。 		
1	6	<p>Lesson5 Communication without Words</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの7割をボディー・ランゲージが占めることを理解する。 ・ボディー・ランゲージは国や文化によって違うことを理解する。 ・海外の人と理解し合うためにはボディー・ランゲージを学ぶことが大切であると理解する。 ・誤解を防ぐためにも自身のボディー・ランゲージを知ることが大切であると理解する。 ・コミュニケーションにおける目の役割について聞く。 ・会話中の視線のやり方について書く。 ・会話中の視線のやり方について意見交換する。 	<p><言語・比較文化> コミュニケーションの70パーセントを占める身体言語</p>	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	7	<p>Lesson6 Christmas Truce</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦下の英・独の戦闘の様子を理解する。 ・クリスマスイブを祝う両軍の様子を理解する。 ・クリスマス期間の停戦と両軍の交流を理解する。 ・クリスマス休戦が伝えるメッセージを理解する。 ・奇跡のような経験に関する会話を聞く。 ・奇跡のような経験について書く。 ・奇跡のような経験について会話する。 	<p><戦争・平和> 第一次世界大戦の戦場で起きたクリスマスの奇跡</p>	<p>20</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	7 8	<p>Lesson7 Political Correctness</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見のない用語の使用が推奨されていることを理解する。 ・だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて理解する。 ・行き過ぎた用語制限に潜む問題を理解する。 	<p><言語・現代社会> 差別や偏見のない中立的な用語の利用と問題点</p>	<p>5</p> <p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

	8	<ul style="list-style-type: none"> 正しい用語の使い方は次の世代にかかっていることを理解する。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を聞く。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を書く。 ・ポリティカル・コレクトネスについて意見交換する。 		
2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な水不足が起きていることを理解する。 ・人口増加や生活水準の向上、地球温暖化が水不足の要因となっていることを理解する。 ・日本も大きく関わる輸出と水不足の関係、仮想水について理解する。 ・日本が取るべき水不足への対策について理解する。 ・節水に関する会話を聞く。 ・水を守るために何ができるか意見を書く。 ・水を守るために何ができるか意見交換をする。 	<環境・国際社会> 世界の深刻な水不足と日本が取るべき行動	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・動物には生来、数学的な能力が備わっていることを理解する。 ・イヌはボールまでの最短距離を計算できることが実験からわかったことを理解する。 ・靈長類は数の違いを理解していることが実験からわかったことを理解する。 ・動物は自然界で生き残るために数学を用いてきたことを理解する。 ・動物の能力に関する会話を聞く。 ・動物の能力に関して書く。 ・動物の能力に関して会話する。 	<動物・科学> 自然界で生き残る秘訣は「数学」にある？	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ウルグアイの元大統領ムヒカの質素な生活と彼が述べた貧しさの定義について理解する。 ・ムヒカが演説で指摘した、環境問題と消費社会の関わりについて理解する。 ・ムヒカが考える発展と幸福の関わりを理解する。 	<生き方・現代社会> 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカ	<p>A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・消費社会の実態とそれに関するムヒカの考えを理解する。 ・ムヒカの考えに関する会話を聞く。 ・ムヒカの考えに対して意見を書く。 ・ムヒカの考えに関して意見交換をする。 ・消費社会の実態とそれに関するムヒカの考えを理解する。 ・ムヒカの考えに関する会話を聞く。 ・ムヒカの考えに対して意見を書く。 ・ムヒカの考えに関して意見交換をする。 		
10 2	Reading My Messages to You	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の学生時代のガールフレンドとのやりとり、そこから学んだことを理解する。 ・教師が学生時代にエレベーターで経験したこと、そこから学んだことを理解する。 ・教師が学生時代に言われた言葉とその意味を理解する。 ・教師にメッセージを書く。 	<スピーチ> 英語教師が最後の授業で卒業生に贈る言葉	20 A コミュニケーションに関心を持ち、積極的に図ろうとする。 C 英語による情報を見たり聞いたりして的確に理解している。 D 言語やその運用についての知識を身につけ、背景・文化を理解している。
11	大学入試共通テスト演習			20
12	大学入試共通テスト演習			20
3 1	大学入試共通テスト演習			10

教科名	外国語	科目名	英語演習		単位数	2単位		
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)		履修形態	必修		
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 1. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 2. 英語を通じて情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけることができる。							
学習内容の概要	大学入試共通テストや私立大学の入試に向けて、以下の内容を含む演習を行う。 (1)長文を読んで大意を把握し、英問英答問題に取り組む。 (2)長文の内容についてのリスニングを行い、正誤問題や選択問題に取り組む。 (3)長文中に出てくる文法事項や語彙の練習問題を通して、基礎力の養成を図る。 (4)スピーキングやライティングの足がかりになるさまざまな種類の問題に取り組む。 (5)電話における会話や3人の会話の聞き取り、イラスト・図表・写真を用いた問題など、さまざまなリスニング問題に取り組む。							
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度		B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化についての知識・理解			
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。			
教科書、教材など	英語総合問題集 UNITE STAGE2(教研出版) 英語総合問題集 UNITE STAGE3(教研出版)							
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)							
年間授業計画								
学期	月	單元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価		
1	4	STAGE2 ・Lesson1 文型 ・Lesson2 時制 ・Lesson3 完了形 ・Lesson4 助動詞	・文の骨格を形作る重要な要素の主語、動詞、基本文型を身につける。 ・現在、過去、未来の表現を身につける。 ・完了形(現在・過去・未来)の表現を身につける。 ・基本的な助動詞の表現を身につける。	・文型:文の構成要素 5文型 ・時制:基本時制、進行形 ・完了形:現在・過去・未来の完了形 ・助動詞:基本的な助動詞、<助動詞+have+過去分詞>の形	6	・小テスト		
	5	・Lesson5 受動態 ・Lesson6 不定詞(1) ・Lesson7 不定詞(2) ・Lesson8 動名詞	・基本的な受動態、注意すべき受動態の表現を身につける。 ・不定詞の基本的用法の表現を身につける。 ・不定詞の意味上の主語、原型・完了不定詞の表現を身につける。 ・動名詞の基本的用法の表現を身につける。	・受動態:基本的な受動態、注意すべき受動態 ・不定詞(1):<to+動詞の原形>の基本的用法 ・不定詞(2):不定詞の意味上の主語、原型不定詞、完了不定詞 ・動名詞:基本的用法、動名詞の意味上の主語、完了動名詞	6	・小テスト、定期テスト		

	6	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson9 分詞・分詞構文 •Lesson10 準動詞のまとめ •Lesson11 比較 •Lesson12 関係詞(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞的用法, 分詞構文の表現を身につける。 ・準動詞である, 不定詞, 動名詞, 分詞の表現を身につける。 ・比較の表現(原級, 比較級, 最上級)を身につける。 ・関係代名詞の表現を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞・分詞構文:形容詞的用法, 分詞構文 ・準動詞のまとめ:不定詞, 動名詞, 分詞 ・比較:原級, 比較級, 最上級 ・関係詞(1):関係代名詞 	8	・小テスト
	7	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson13 関係詞(2) •Lesson14 仮定法(1) •Lesson15 仮定法(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞, 関係副詞, 関係詞の継続用法の表現を身につける。 ・仮定法の過去, 過去完了の表現を身につける。 ・仮定法の願望表現, その他の重要な表現を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係詞(2):関係代名詞, 関係副詞, 関係詞の継続用法 ・仮定法(1):仮定法過去, 仮定法過去完了 ・仮定法(2):願望を表す表現, その他の重要な表現 	8	・小テスト, 定期テスト
	8	<p>STAGE3</p> <ul style="list-style-type: none"> •Lesson1 時制 •Lesson2 助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在, 過去, 未来, 進行形, 完了形の表現を定着する。 ・助動詞の基本的用法の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在, 過去, 未来, 進行形, 完了形 ・基本的な助動詞, 助動詞+have+過去分詞, 助動詞を使った重要な表現 	2	・小テスト
2	9	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson3 受動態 •Lesson4 準動詞(1) •Lesson5 準動詞(2) •Lesson6 準動詞(3) •Lesson7 比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形, 進行形の受動態の表現を定着する。 ・不定詞, 分詞の形容詞的用法の表現を定着する。 ・完了不定詞, 分詞構文の表現を定着する。 ・不定詞の否定形, 独立分詞構文の表現を定着する。 ・比較の表現(原級, 比較級, 最上級)を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形, 進行形の受動態, 注意すべき受動態 ・原形不定詞, 不定詞の意味上の主語, 目的語としての動名詞と不定詞, 分詞の形容詞的用法 ・完了不定詞, 動名詞の意味上の主語, 動名詞を使った重要な表現, 分詞構文 ・不定詞の否定形, 動名詞の態, 付帯状況を表す表現, 独立分詞構文 ・原級, 比較級, 最上級を使った表現, 最上級の内容を表す原級, 比較級, 比較に関する重要な表現 	8	・小テスト

	10	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson8 関係詞(1) •Lesson9 関係詞(2) •Lesson10 仮定法 •Lesson11 否定 •Lesson12 注意すべき構文 	<ul style="list-style-type: none"> •関係代名詞の表現を定着する。 •関係副詞の表現を定着する。 •仮定法の表現を定着する。 •否定の表現を定着する。 •注意すべき構文の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> •関係代名詞, 関係代名詞が前置詞の目的語になる場合, 関係代名詞の非制限用法, 複合関係詞 •what, 関係副詞 •仮定法過去, 仮定法過去完了, 願望を表す用法, 仮定法の重要な表現, 未来のことを仮定する表現 •準否定, 部分否定, 二重否定, 隠れた否定, 否定を含む重要な表現 •強調構文, 無生物主語構文, 同格, 名詞構文 	8	•小テスト, 定期テスト
	11	<ul style="list-style-type: none"> •Lesson13 名詞・代名詞 •Lesson14 形容詞・副詞 •Lesson15 前置詞・接続詞 •大学入試問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> •名詞, 代名詞の表現を定着する。 •形容詞, 副詞の表現を定着する。 •前置詞の基本的用法の表現, 接続詞の表現を定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> •可算名詞と不可算名詞, 人称代名詞, 指示代名詞, 不定代名詞 •形容詞の用法, 副詞の用法, 数量を表す形容詞, 数詞 •基本的な前置詞の用法, 群前置詞, 等位接続詞, 従位接続詞 	8	•小テスト
	12	•大学入試問題演習			8	•小テスト
3	1	•大学入試問題演習			4	•小テスト

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進クラス)	履修形態	必修	
科目の目標	心と体が一体であることや体力の高まりを実感したり技能を獲得したりするなどの過程を通して、合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識させ、動きの獲得や技ができる喜びなどの各領域特有の特性や魅力を深く味わうとともに、公正、協力、責任、参画などの社会的態度を養う。					
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。					
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度		思考・判断	運動技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。		自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	特になし					
授業形態	実技(男女別合併授業)					
年間授業計画						
学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	9 9	授業中の行動の観察
	6	体育理論	スポーツの歴史、現代スポーツの特徴。	豊かなスポーツライフの設計や生涯スポーツについて考える。 健康の保持増進や科学的に体の仕組みを理解する。		授業中の行動の観察
	7	体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	正しい測定を行い、自己的能力診断を昨年と比較し、分析する。		評価テスト(総時数6時間) 授業中の行動の観察
	8	新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	各種目特有の技能を高め、体の使い方を科学的に理解する。		実技テスト
	9	陸上競技	自己の能力に応じて運動技能を高め、競技したり記録を高める。		12	診断テスト結果
2	10 11	バレーボール ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	安全面を意識しながら各チームで協力してゲームを展開し、課題解決ができるようとする。	12 12 12	授業中の行動の観察 実技テスト
	12 1	サッカー バスケットボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	安全面を意識しながら各チームで協力してゲームを展開し、課題解決ができるようとする。	12 12	授業中の行動の観察 実技テスト
3		バドミントン	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	安全面を意識しながらペアで協力してゲームを展開し、課題解決ができるようとする。	6	授業中の行動の観察 実技テスト

教科名	保健体育	科目名	基礎体力	単位数	2単位		
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース特進クラス	履修形態	必修		
科目の目標	心と身体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。						
学習内容の概要	スポーツに限らず、神経・筋肉・関節へのストレスの除去、老廃物の除去等、身体に有益な状態を作りだす初動負荷トレーニングの理論・トレーニング方法を習得し、神経と筋肉の合理的な協調性(神経筋協応能)を高める。また、トレーニングにより「弛緩→伸張→短縮」の一連のサイクルを促進させ、パフォーマンスの向上を図る。人体解剖学などにより身体の仕組みを理解する。						
科目的評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考判断	運動の技能	知識・理解			
	初動負荷理論に関心を持ち、競技力の向上には何が必要かを考え実行できる態度が身についている。	初動負荷理論についての思考を深め、日常生活での活用方法を適切に判断できるようになる。	基礎体力の授業を通して必要な技能を習得し、実際の場面で成果を発揮できるようになる。	初動負荷理論に関する基礎的な知識を身につけ、その役割について理解できる。			
教科書、教材など	特になし						
授業形態	実技及び講義(学級単位による授業)						

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	トレーニング	関節可動域の測定 ストレッチ(肩・股関節)	6	現時点の肩関節・股関節の可動域を認識させる。
	5	トレーニング及び 講義	ベーシック種目から、各身体状況及び競技にあわせて種目展開を行う。高校総体までは、身体のほぐしを主としたトレーニングを行う。	6	筋肉の状態がパフォーマンスに直結していることからも、大会に備えて良い身体状況を確保させる。
	6			8	
	7			8	
2	8			2	初動負荷トレーニングにより、神経と筋肉の合目的な協調性(神経協応能)を高め、
	9			8	神経・筋機能(相反神経支配・反射)や、
	10			8	血流及び代謝、老廃物の除去、身体の歪みの矯正、関節や筋肉及び精神的ストレスの除去などを促進させる。
	11			8	
	12			8	
3	1		ディップス・チェスト SP・ラットマシーン・プルオーバー・サイドペンド・アウター・LP・インナーサイ・インナーサイ捻り・マシンスクワットなどを組み合わせ実践する。	4	柔軟性の向上から、弾力性を向上させるトレーニングに移行させ、競技力の向上に結び付けたい。

教科名	保健体育	科目名	基礎体力	単位数	2単位		
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学コース特進クラス	履修形態	必修		
科目の目標	心と身体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。						
学習内容の概要	スポーツに限らず、神経・筋肉・関節へのストレスの除去、老廃物の除去等、身体に有益な状態を作りだす初動負荷トレーニングの理論・トレーニング方法を習得し、神経と筋肉の合理的な協調性(神経筋協応能)を高める。また、トレーニングにより「弛緩→伸張→短縮」の一連のサイクルを促進させ、パフォーマンスの向上を図る。人体解剖学などにより身体の仕組みを理解する。						
科目的評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考判断	運動の技能	知識・理解			
	初動負荷理論に関心を持ち、競技力の向上には何が必要かを考え実行できる態度が身についている。	初動負荷理論についての思考を深め、日常生活での活用方法を適切に判断できるようになる。	基礎体力の授業を通して必要な技能を習得し、実際の場面で成果を発揮できるようになる。	初動負荷理論に関する基礎的な知識を身につけ、その役割について理解できる。			
教科書、教材など	特になし						
授業形態	実技及び講義(学級単位による授業)						

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	トレーニング	関節可動域の測定 ストレッチ(肩・股関節)	6	現時点の肩関節・股関節の可動域を認識させる。
	5	トレーニング及び 講義	ベーシック種目から、各身体状況及び競技にあわせて種目展開を行う。高校総体までは、身体のほぐしを主としたトレーニングを行う。	6	筋肉の状態がパフォーマンスに直結していることからも、大会に備えて良い身体状況を確保させる。
	6			8	
	7			8	
2	8			2	初動負荷トレーニングにより、神経と筋肉の合目的な協調性(神経協応能)を高め、神経・筋機能(相反神経支配・反射)や、血流及び代謝、老廃物の除去、身体の歪みの矯正、関節や筋肉及び精神的ストレスの除去などを促進させる。
	9			8	
	10			8	
	11			8	
	12			8	
3	1		ディップス・チェスト SP・ラットマシーン・プルオーバー・サイドペンド・アウター・LP・インナーサイ・インナーサイ捻り・マシンスクワットなどを組み合わせ実践する。	4	柔軟性の向上から、弾力性を向上させるトレーニングに移行させ、競技力の向上に結び付けたい。

教科名	総合	科目名	選択スポーツ	単位数	2 単位
対象学年	第3学年	対象コース	スポーツ科学 特進クラス	履修形態	必修
科目の目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	学ぶ内容を生徒自身が選択し、自分の学びたい競技に対して能動的かつ、積極的に取り組みをおこなう。実技のみにとどまらず、コンディショニングや理論も合わせながら授業をおこない、その専門性をより深く学べる機会とする。				
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	特になし				
授業形態	実技(学習内容選択型授業)				

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4	オリエンテーション 選択競技の選択	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察
	5	各分野での活動	県総体に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	6	授業中の行動の観察
	6	各分野での活動		専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
	7	各分野での活動	全国大会に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
2	8	各分野での活動	新人戦に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	2	
	9	各分野での活動			8	
	10	各分野での活動			8	
	11	各分野での活動			8	
3	12	各分野での活動			8	授業中の行動の観察
	1	各分野での活動			4	授業中の行動の観察